

あやなり

Bunkyo Pride

文教大学学園は 2027 年に創立100周年を迎えます



特集 全国の校友に会いに行く
in 北海道

表紙制作：大久保 智睦 先生
文教大学教育学部教授

読者の声

文は人なり

読者の皆さまの「文」でつくるページです。

今回のテーマ

在校生に読んでほしい
おすすめの本

絵本『いっしょにのぼろう』。とてもほのぼのとしたかわいらしい絵本ですが、読んでみるととても深いお話です。絵本は子供だけのものと考えず、大人になってからこそ感動できるものでもあります。

文教大学女子短期大学部卒業／まさよさん

『富士屋ホテル結婚伝説：Home sweet Home』をおすすめします。文教大学卒業生の本気度で仕事に向き合う姿に、思わず胸が熱くなりました！

文教大学卒業／匿名希望

『世界のビジネスエリートが身につけているコーヒーの教養』で、一杯のコーヒーがどのように作られ、なぜこれほど世界中で愛されているのかを解き明かすことができます。最近の物価高で、コンビニのコーヒーを注文することもためらうようになりましたが、この本を読んで納得しました。世の中のさまざまなからくりがコーヒー価格を決めている、という視点で改めて飲んでみるのもおすすめです。

文教大学卒業／ひかりさん

『赤毛のアン』シリーズです。赤毛のアンは有名ですが、その先を読み進めていくと主人公のアンが結婚をして子どもたちの話になっていきます。長いですが、とても面白いのでおすすめです！

文教大学卒業／ちこさん

『部落フェミニズム』。最近読んだ本ですが「知らなかった」では済まされない差別の実情が描かれています。

文教大学卒業／しがな教員さん

廣嶋玲子さんの『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』がおすすめです。いろいろな駄菓子が出てきて楽しい気分になります。駄菓子を食べなくても必ずしも幸せになれるわけではなく、駄菓子を食べる人の人間性によってはバットエンドになることも面白いと思います。登場人物が子どもから大人まで出てくるので、幅広い年齢層におすすめの本です。

文教大学付属中学校在籍／クロシロペンギンさん

『サラとソロモン』 エスター & ジェリー・ヒックス著
文教大学女子短期大学部卒業／SHIHOさん

おすすめの本は『六人の嘘つきな大学生』です。就職活動の話ですが、学生にも親世代にも通ずる「本音と建前」がリアルに描かれています。読むと自分にも思い当たる節が…、となるはずです。

文教大学付属中学校卒業／Kさん

川端康成の『掌の小説』です。直接的に言葉にしくなくとも伝わる感情の機微がとても日本的です。若い方たちにも読んでいただきたいです。

文教大学女子短期大学部卒業／まみま62さん

森永卓郎さんの本。社会の裏が分かって面白く、亡くなったのが残念。

文教大学女子短期大学部卒業／りほさん

私が読んで欲しい本は、瀬尾まいこ作『あと少し、もう少し』です。陸上部の話で、仲間との絆や、目標に向かって努力する大切さを描いています。この本を読むことで努力することの大切さを再認識することができます！

文教大学卒業／ヘルスポーイさん

『疲れない大百科』女性ならではの不調に対して、どうしたらいいか、考えるきっかけになりました。人生健康第一！

文教大学卒業／まきさん

『くき』が僕らを呑みこむ前に』は、オススメの1冊です。多くのことをAIに頼れる時代になりましたが、AIではなく「自分」としての意見をしっかり持つこと、大事ですね。今、多くの人に読んでほしいな。

文教大学卒業／関根優貴さん

たくさん本を読んでほしい。おすすめは文豪たちの本。

文教大学保護者／ふんこーださん

『「医者いらず」の食べ物事典』(PHP文庫) 石原結實医学博士著。野菜、果物、魚介類など、身近な食材がどのような病気を遠ざけてくれるか解説しています。薬になる114の食材の理想の食べ方がわかる。1人住まいで栄養が偏りがちのアナタに！話のネタにもなります。文庫本で500円位。古本屋なら110円で売ってました。

文教大学卒業／高橋敏夫さん

『Wonder』 R.J.バラシオ。人の魅力は、見た目や容姿で判断するものではない。互いに偏見を持たない目や気持ちで相手を見たり、話したり、一緒に行動したりしてその人の魅力をわかりあうことができる。自分や周りの人とのことを考えたり、悩んだりする小中学生に読んでほしい本です。私は、中1の国語の授業で生徒に紹介してもらいました。

文教大学卒業／ふながのさん

『野村ノート』。野村克也さんの想いがつまった一冊です。野球人はもちろん、誰が読んでも勉強になることが載っています。ノムさんの様々な名言が日々の生活に役立ちます。「まず挑め。失敗したら、考えろ。」など。

文教大学卒業／群馬のダルビッシュ世代さん

『散るぞ悲しき〜硫黄島総指揮館・栗林忠道』。日本を守るためここまで力を尽くした人がいたこと、多くの人に知って欲しいです。

文教大学卒業／日本語教師見習いさん

私の近況

最近野球を見ることにハマっております。先日、ヤクルト対阪神の試合を見ていると、球場内に見覚えのある言葉が…「育ての文教!」。驚きました。文教大学学園はヤクルトスワローズのスポンサーなんですね！

文教大学在籍／シンさん

今年の夏は本当に暑いですね。大学時代の越谷もとても暑くて、教科書を汗でふやかしながら勉強していました。同僚の先生に越谷の卒業生がいて、ときどき大学の話で盛り上がっています。

文教大学卒業／はなこさん

大阪関西万博。55年前、20代幼稚園勤務時に妹と行った。宿はユースホステル。話題は「人間洗濯機」と「月の石」並んで鑑賞、想像より小さかったが存在感は格別だった。今回、80代、ネット・スマホが主役、若者に頼り近未来の世界へ見解を広めに行った(一部省略)。約3万歩の見学、健康に感謝し有意義な日となりました。

文教大学女子短期大学部卒業／今 貞子さん

「人生は一度きり。たった一度の人生、気になったこと、チャレンジしないのはもったいない! たとえそれが希望通りの結果にならなかったとしても、何か意味があるはず!」

文教大学卒業／フラガールさん

卒業生の活躍を知ることができて刺激になりました。縁のある学舎で私も大いに学び、成長したいです。

文教大学付属中学在籍／ゆずみかんさん

卒業して35年。同窓生で同僚になった方は2人。うち1人は現任校の校長先生で、小・高・大で2年先輩。この春、赴任した新採教員は、なんと同じPの35年後輩! 初任研指導教員の仕事にも力が入る36年目です。

文教大学卒業／仲山猛史さん

相模原の小学校で勤務しています。同じ学年の先生が同じ年で文教出身でびっくり?? 思い出話を仕事の合間にできて幸せです!

文教大学卒業／かおりんさん

「全国の校友に会いに行く」の記事でココファームワイナリーが紹介されていましたが、在学中、星野先生と共に特殊専修のクラスメートでこころみ学園に実習に行かせていただいたことを懐かしく思い出しました。初めて地下足袋をはいて鎌を手に山の草刈りをしたり、ブドウの剪定をしたり、いろいろな意味で心に残る体験でした。外での作業の休憩時間に出していただいたスイカがまだに人生で一番おいしかったスイカです。

文教大学卒業／やよいさん

昨年の簗塔祭に久しぶりに伺いました。遠方からだったので、移動で若干疲れはありましたが、茅ヶ崎駅前からバスに乗って大学に着いた時、とても懐かしく学生時代を思い出し、疲れも一気に吹き飛びました。

文教大学女子短期大学部卒業／オリオリさん

フリーランスのライターに転身してはや1年。趣味の時間も確保できるようになりました。最近ハマっているのは切り絵です。ミノウラに切り絵の作品を貼って、友人にプレゼントしました。これからいろいろな作品に挑戦したいです。

文教大学卒業／ミルさん

読者アンケート・投稿のお願い

「文は人なり」次回のテーマ

あなたにとっての人間愛とは?

近況や文教時代の思い出など、テーマ以外の投稿も大歓迎です!



お問い合わせください!

同窓会告知、お手伝いします!

同窓会の告知を校友会 Webサイトやメールマガジン等でご紹介いたします。お気軽にご相談ください。



同窓会告知の
お問合せはこちら

編集後記

文教大学学園に関わる“人”や“場所”を紹介する『あやなり-Bunkyo Pride-』2026年度号を発行する運びとなりました。特集「全国の校友に会いに行く!」では、北海道を訪問。文教大学学園から遠く離れた北の大地で活躍する卒業生と、その“場所”でオフラインでお会いすることで活躍ぶりを肌で感じることができました。表紙絵は創立99周年＝「白寿」をイメージし、教育学部教授の大久保先生にご提供いただきました。晴れやかで豊かな表紙からはじまり、在校生・卒業生・恩師の魅力なお話をふんだんに掲載した2026年度号を、Webサイトと合わせてお楽しみください!

(理事長室 校友会担当 A.S.)

※送付先住所は、各校友会団体の協力を得て最新のデータで送付しておりますが、旧住所や宛名間違い等がございましたらご寛恕ください。その場合はご連絡いただけますと幸いです。

INDEX

- p.2 学園理事長の挨拶
- p.4 特集・全国の校友に会いに行く
- p.8 文教人INTERVIEW
- p.10 文教百花
- p.11 恩師便り
- p.12 文教大学学園創立100周年記念
応募作品
- p.14 学園NEWS
- p.16 CAMPUS REPORT
- p.18 校友会の輪
- p.20 文は人なり

あやなり Bunkyo Pride

文教大学学園広報誌

文教大学学園の在校生や保護者、卒業生など、

「文教人」の皆さまにお送りする広報誌、『あやなり-Bunkyo Pride-』。

文教大学学園の各校の情報や、文教人へのインタビューなどをお届けします。

「あや（文＝文教）は人なり」という思いを込めて、

そして Bunkyo Pride は、皆さまが文教人であることに

誇りを感じていただけるように。

そんなメッセージが伝わる冊子を目指しました。

この一冊が、人と人、人と学園をつなぐ場であればと願っています。

あやなり-Bunkyo Pride-をお届けします

『あやなり-Bunkyo Pride-』は、2022年度にリニューアルをし、在校生、保護者、卒業生など様々な「文教人」の皆さまに学園の情報をお伝えする広報誌となりました。今号の表紙は、日本美術院院友で文教大学教育学部学校教育課程美術専修の大久保智睦教授に提供をしていただきました。

学園創立99周年にあたる2026年は、人間でいえば「白寿」にあたる大変めでたい1年です。99年に及ぶ文教大学学園の歴史を讃えるにふさわしい、厳かにかつ華やかで美しい表紙絵デザインに仕上げていただきました。誌面ではそれぞれに活躍する在校生、卒業生、恩師のご活躍を紹介しております。

特集では、「全国の校友に会いにいく!」をテーマに、全国各地の校友に取材しております。第二弾となる今回は、北海道にスポットをあて、帯広でドッグトレーナーと

中学校教員として活躍されている卒業生のご夫妻と、札幌で女子ラグビー選手として活躍されている卒業生を取材しました。

その他、学園創立100周年記念作品募集にご応募いただいた作品のご紹介など盛りだくさんの学園情報をお送りいたします。

文教大学学園は来たる2027年度に学園創立100周年を迎えます。100周年の節目へ向けて、またその先の100年に向けて、建学の精神であります「人間愛」を大切にしながら、皆さまに誇りに思ってもらえるような学園づくりに取り組んでまいりたいと考えております。これからも園児・児童・生徒・学生の学習環境を整え、よりよい教育の場を築いてまいります。今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは『あやなり-Bunkyo Pride-』をお楽しみください。

文教大学学園 理事長
野島 正也

文教大学学園 2026年5月1日現在

文教大学附属幼稚園

開設：1927年
園児数：145名
園長：中山 敦子



所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064
東京都品川区旗の台3-2-17 Tel：03-3781-2798

文教大学附属小学校

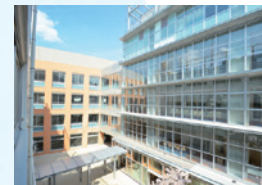
開設：1951年
児童数：329名
校長：島野 歩



所在地：石川台キャンパス
〒145-0065
東京都大田区東雪谷2-3-12 Tel：03-3720-1097

文教大学附属中学校・高等学校

[中学校]
開設：1947年
生徒数：447名
校長：神戸 航
[高等学校]
開設：1948年
生徒数：819名
校長：能村 英達



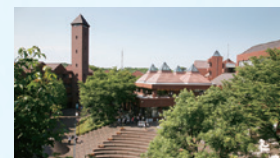
所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064
東京都品川区旗の台3-2-17 Tel：03-3783-5511（代）

文教大学・大学院

開設：1966年
教育学部：1,691名
人間科学部：1,904名
文学部：1,630名
情報学部：1,222名
健康栄養学部：383名
国際学部：1,177名
経営学部：784名
大学院：100名
外国人留学生別科：12名
専攻科教育専攻科：1名
〈合計 8,904名〉
学長：宮武 利江



越谷キャンパス



湘南キャンパス



東京あだちキャンパス

所在地：
[越谷キャンパス]
〒343-8511
埼玉県越谷市南荻島3337
Tel：048-974-8811（代）

[湘南キャンパス]
〒253-8550
神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 Tel：0467-53-2111（代）

[東京あだちキャンパス]
〒121-8577
東京都足立区花畑5-6-1 Tel：03-5686-8577（代）

文教

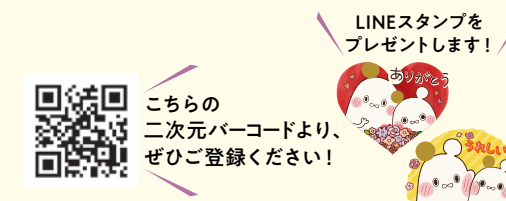
HOT Topics

5000ダウンロード限定！
文教大学学園公式LINEアカウント
新規ご登録で
限定スタンププレゼント！



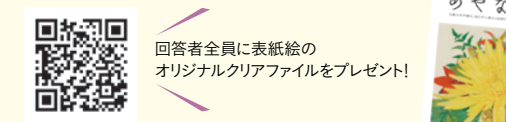
学園情報をリアルタイムにお届けする学園公式LINEアカウントの友だち登録はお済みですか？今なら新規でお友だち登録いただいた方に限り、期間限定で文教大学公式マスコットキャラクター「BUNKO」の「使いやすい言葉」限定スタンプをプレゼントしています！校友メールマガジン「あやなりBPかわら版」や住所変更などの各種お手続きもLINEより変更可能です。ぜひお友だち登録をお願いします！

※「校友」とは、学園各校の在校（園）生・卒業（園）生 およびその保護者、現役・退職教職員の総称です。



『あやなり-Bunkyo Pride-』アンケート・投稿にご協力ください！

アンケート回答者全員に今号の表紙絵のクリアファイルをプレゼント！「文は人なり」コーナーの投稿もこちらからお願いします！次回のテーマは学園創立100周年にちなみ、「あなたにとっての人間愛とは？」です。



※クリアファイルプレゼントは2026年12月末までにご回答いただいた方が対象です。

目指せ100店！「校友のお店100」

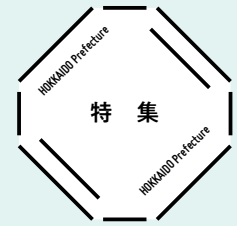
Webページ「-訪ねる-」に お店を掲載しませんか？

学園広報誌「あやなりBP」Webサイトの「-訪ねる-」のコーナーでは、校友が活躍するお店を紹介しています。2027年に迎える学園創立100周年にちなみ、**100店舗目指して掲載店を募集中です！**卒業生が利用できる「お店」であれば、施設、病院等でも大歓迎です！皆さま、奮ってご応募ください！



ご応募は
こちら
から





全国の校友に会いに行く in 北海道

日本各地にいる卒業生を訪ね、地域に根ざした暮らしを聞きながら、地元の魅力やおすすめの場所を紹介してもらう企画です。第二弾は北海道。校友のおすすめを巡って、北海道を旅してみたいいかがですか？



2021年から日本代表に参加。2024年はパリ五輪のセブンズの舞台にも立った

文教と私

大学時代を振り返ると、おいしかった学食や友人に助けてもらった講義のことを思い出します。ラグビーを続ける気持ちを持てたのは大学時代。今につながる土台をつくってもらいました。



さえぐさ ち あき
三枝 千晃さん

北海道バーバリアンズディアナ所属
文教大学教育学部学校教育課程体育専修
2019年卒業

ラグビーに全力投球した大学時代 2024年、パリ五輪の選手に

東京都出身の三枝千晃さんは、女子7人制ラグビー日本代表「サクラセブンズ」の一員だ。現在は北海道バーバリアンズディアナに所属し、国内外の舞台で戦い続けている。だが、その競技人生は決して幼少期からラグビー一筋だったわけではない。

中学時代はバスケットボール部、高校では陸上部に所属。ラグビーとの出会いは高校3年の体育の授業だった。初めて楕円球を追いかけた時、「人にぶつかるタックルも怖くなかったし、トライも取れたので楽しくて、魅了されました」と振り返る。その「楽しい」という感覚を追いかけるように、大学で本格的に競技を開始した。

一方で、子どもの頃から「小学校の先生になりたい」と教員になることを夢みていたこともあり、進学先には教育学部のある文教大学を選択。大学に向かう途中の土手に咲く桜がキレイだったことが、今も印象深く記憶に残っている。そして進学と同時に、埼玉県の女子ラグビー

のクラブチーム・アルカス熊谷に加入。

「ネットで、大学のある埼玉でラグビーチームを検索して、入団できるチームを探しました。ただ地理がよくわかっていなくて。キャンパスも埼玉だから近いと思ったんですが、越谷と熊谷って意外と遠かったんですね」と笑う。ただ真剣にラグビーを始めて「人生が変わった」と話す。その競技のおもしろさに取り憑かれ、「ラグビーに全振り」する生活になったからだ。

大学2年生からは熊谷に住まいを移し、ラグビー漬けの生活に。授業と競技の両立に追われつつも、教員免許取得に向けた学びはしっかり続けた。

小学校での教育実習では2年生を担当。「子どもたちがかわいくて、かわいくて。ただ一緒に遊んでいた記憶ばかりが残っています」と照れ笑う。

しかしラグビーでは、全十字靭帯を損傷する大ケガも経験。「1年以上プレーできず大変でし



日本代表のジャージ

た。この後、プレーできるのか不安な気持ちに襲われることもありました」

それでも辞めることは考えなかった。まだまだラグビーに魅了されているからだ。

仲間と支え合うラグビーの世界 「楽しい」を追いかけて世界の舞台へ

所属先のクラブチームのヘッドコーチが北海道のチームに移籍し、三枝さんに声をかけてくれたことで、卒業後は北海道へ。

男子ラグビーチームも持つ「北海道バーバリアンズ」の女子チーム「ディアナ」に所属することに。昼は薬局経営支援を展開する企業で働きながら、就業後に練習に励んでいる。



北海道バーバリアンズディアナでは、主力としてチームを牽引。青いヘッドギアを着けているのが三枝さん



ジムやミーティングルームなどが入った施設。外観には選手の写真が飾られている（左下は三枝さん）



クラブチームの練習に使われるメインとサブのグラウンドは、他のチームにも無料で貸し出ししている



ニュージーランドの格式あるラグビークラブを目標に、手作りした赤レンガのエントランス

2021年から、日本代表に招集されるようになった。「毎回呼ばれるわけではありませんが、ずっと代表を目指していたのですごくうれしかったです」と目を輝かせる。

そして2024年、念願だったパリオリンピック出場を果たす。サクラセブンズは、リオ、東京と出場してきたオリンピックの中で、過去最高となる9位という成績を収めた。ただ、もちろんこれで満足しているわけではない。

今は「ロサンゼルスオリンピックでの金メダル獲得を目指して、練習しています。いつまで自分がプレーヤーとしてラグビーに携われるかはわかりませんが、その時その時のベストを出して目標に少しでも貢献できるようにがんばりたいです」と力を込める。

三枝さんはラグビーの魅力について、「背が高くて低くても、体が大きくても小さくても、それぞれが自分の持ち味を出して活躍できるポジションがラグビーにはあります。自分の得意なところでチームに貢献し、苦手な部分はみんなが補ってプレーする。そういう支え合いを感じられるところが好きです」と話す。

文教大学で学び、仲間と出会い、ラグビーに本気で向き合ったその経験の積み重ねが、三枝さんを世界の舞台へと導き、今の充実した日々を支えている。

北海道バーバリアンズ

ラグビーを中核にする総合型スポーツクラブ。クラブ日本一を目指す男子チームだけでなく、女子ラグビー7人制チーム、愛称「ディアナ」も有する。日本代表プレーヤーや外国人留学生などが在籍し、ハイレベルなラグビーで国内の大会はもちろん、国際大会にも数多く参戦する。



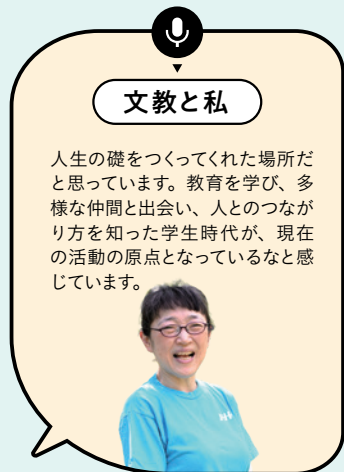
バーバリアンズのメイングラウンド。大自然に囲まれ、北海道らしい風景が広がる



おくやまドッグトレーニングの
トレーニング場でもある
ご自宅の庭で、愛犬の
コンバート、ジャッキー、
ジヴァ（左から）と

おくやま なおみ
奥山 直美さん

「奥山ドッグトレーニング」代表
文教大学教育学部初等教育課程
特殊教育専修
1994年卒業



文教と私

人生の礎をつくってくれた場所だ
と思っています。教育を学び、多
様な仲間と出会い、人とのつなが
り方を知った学生時代が、現在
の活動の原点となっていると感じ
ています。

北海道の広大な大地で 人にやさしく寄り添う犬を育てる

青森育ちの奥山直美さんには、幼い頃から
犬が身近にいた。猟犬を飼う家庭で育ち、「犬
のいない生活は大学時代くらいだった」と振り
返る。また、特別支援教育に関心を持った原
点も幼少期にあった。近所に障がい者施設が
あり、遠足のたびに利用者と顔を合わせていた。
「障がい者を支援する側に」と文教大学教育学

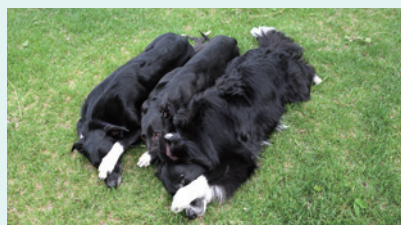


ディスクドッグのデモンストレーションや大会を行う「北
海道シリウス友の会」の2022年7月大会の様子
写真提供・鹿野信隆さん

部に進学。「青森育ちの私には、川沿いで四季
も感じられる越谷キャンパスはとてもよい環境
だった」と懐かしむ。ラグビー部のマネージャー
も務め、人を支えることの楽しさも自然と学んで
いった。

卒業後は、北海道で特別支援教育の教員と
して勤務。しかし家族や愛犬との別れを経験す
る中で、「このまま忙しいだけで人生を終えてし
まってしまうのだろうか」と考えるようになる。そ
して11年間の教員生活に終止符を打った。「まず
は好きなことをしよう」と打ち込んだのが、ディ
スクドッグ競技だった。愛犬と挑んだ2005年の
世界大会では、初出場ながら決勝進出、トップ
10入りを果たす快挙を達成。その力を見込まれ、
ドッグトレーナーとして活動を始めることになる。

現在は「奥山ドッグトレーニング」を主宰し、
吠えや散歩の悩みなど一般的なしつけ相談を
受けながら、セラピードッグの育成と普及にも力



「こんにちは！」と挨拶をしているポーズ

を注ぐ。病院や高齢者施設を訪問し、犬との
触れ合いを通じて、施設にいる方々の心身を癒
やす活動を20年以上続けてきた。

教員時代に培った“人を支える力”と、犬と向
き合ってきた経験。その両方が、現在の活動に
つながっている。「人の役に立てる犬と、そうし
た犬を育てる飼い主さんを増やしたい」と語る。
犬と人、その双方に寄り添う奥山さん。大学で
培った「育てる」力を、これからも発揮していく。



大学のラグビー部時代に、
直美さんがラグビー部のマ
ネージャーをしていた縁で結
婚

おくやま まさゆき
奥山 正行さん

芽室町立芽室中学校教員
文教大学教育学部初等教育課程
体育専修
1992年卒業

人と人がつながるパワーを チームスポーツを通じて教える

東京都八丈島出身の奥山正行さんは、現在、
北海道・芽室町の中学校で保健体育科教員と
して働きながら、野球部の監督として日々生徒
たちと向き合っている。自身、高校時代は野球
に打ち込み、東東京大会ベスト8を経験。「や
り切ったという満足感があった」ため、大学
では以前から憧れていたラグビーに挑戦し、チ
ームメイトとともに汗を流した。「仲間に恵まれた4
年間でしたね」授業が終わればグラウンドへ向
かい、夜は仲間と食事やドライブを楽しむ。そ
んな学生時代の記憶は今も鮮やかだ。

北海道と縁ができたきっかけは、大学時代
のバイク旅だった。ラグビー部や体育専修の
仲間と北海道を一周し、その雄大な自然に魅
了されたという。北海道の教員採用試験に合
格すると「ここで先生をやるのもおもしろいか
もしれない」と移住を決意した。

現在勤務する芽室中学校は、かつて“日本
一敷地の広い中学校”として知られた学校だ。
広大な環境の中、「ゴミゴミしていない自然の
中で、自分のやりたい教育や部活動ができて
いる」と語る。

2017年、
監督を務め
る野球部が
全国大会3
位に



2017年には野球部を全国大会3位へ導いた。
「生徒、保護者、指導者が一致団結すると大き
な力になるということを学んだ」と当時を振り返る。
時代の変化とともに指導法も変えた。「なぜ叱る
のか、なぜこの練習をするのかをきちんと説明
するようにしています」子どもたちと対話しながら
チームをつくる姿勢の根底には、文教大学で学
んだ教育観と、人とのつながりが息づいている。

NAKASATSUNAIMURA

北海道に行ったら立ち寄りたい 校友のおすすめスポット

中札内村

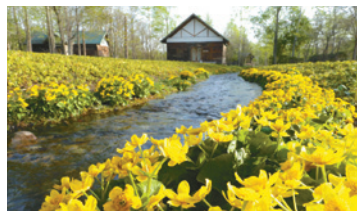
奥山さんご夫妻のおすすめ

六花の森

自然とアートが融合する庭園

「マルセイバターサンド」で全国的に有名な
六花亭の庭園。10万平方メートルの広大
な園内には十勝六花をはじめとする四季
折々の山野草が咲き、クワアチアの古民家
を移築したギャラリーやショップなどが点
在する。

◇ 河西郡中札内村常盤西3線 249-6
☎0120-12-6666 ◎10:00～16:00(6・7月は9:00
～、10月は～15:00) ◎10月中旬～4月下旬は休
園、開園中は無休 ◎1200円



4～5月はエゾノリュウキンカが咲き誇る

帯広市

奥山さんご夫妻のおすすめ

紫竹ガーデン

花と緑に包まれる癒やしの庭園

全長約250kmにわたる北海道ガーデン
街道の中で、人気を集める観光ガーデン。
年間を通して約2500種の花が次々と咲き、
18000坪もの広大な園内を彩る。地元食
材を使った料理が味わえるレストランや、
ガーデニングショップも併設。

◇ 帯広市美栄町西4線107
☎0155-60-2377 ◎8:00～17:00
◎10月下旬～4月第3金曜は休園、開園中は無休
◎1000円



ルドベキアが咲き誇る9月の庭

札幌市

三枝選手のおすすめ

苗穂駅前温泉 蔵ノ湯

銭湯価格で温泉が楽しめる

札幌の中心部にあるリーズナブルな入浴
施設。大浴場やジャグジー、洞窟露天風呂
など多彩なお風呂のほか、TV付きのサ
ウナも評判。地下水を利用した水風呂が
あり、外気浴もできる。館内には三枝選手
のジャージが飾られている。

◇ 札幌市中央区北2条東13-25-1
☎011-200-3800
◎10:00～24:00(受付～23:00)
◎なし ◎500円



麺類や定食が食べられる食事処を併設



奥山
ドッグ
トレーニング
を紹介しま
す

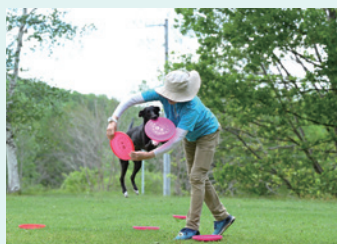
犬と人とがより良い 関係を築くために

北海道十勝管内で、各家庭の事情に合わせた犬のしつけ方法を
提案する教室をはじめ、目的に沿った犬の訓練を行う教室。ディス
クドッグ(USDDN)世界全米選手権2年連続入賞の実績があるディ
スクドッグトレーニングや飲食店と一緒にいくためのカフェレッスンなど
を多彩に展開。有償ボランティアでアニマルセラピーも行っています。

奥山ドッグトレーニング

◇ 北海道河西郡芽室町西士狩北8線24-15 ☎090-1815-4906(奥山直美)
◎http://discdoger.jp

犬それぞれの性格や特
性に寄り添い、最適な
環境を整えて対応。
スクールに通っている人
限定で、ペットホテルと
しての利用も可能



ディスクドッグ競技の練習風景



奥山さんの指示を聞いて、3列に並ぶ愛犬たち

文教人

INTERVIEW

幼稚園から大学院まで擁する文教大学学園。
在校生は約1万人、卒業生は14万人を超え、それを多くの教職員が支えています。
さまざまな分野で活躍する「文教人」たちの「文教魂」に迫ります。



TOMOMUTSU OKUBO

ほころぶ菊花の晴れやかさに 「白寿祝い」の心を込めて描く

学園創立 99 周年を 「白寿」に見立てて

晴れやかにほほえむような美しい菊花が、表紙を飾った今号。2026年度の『あやなりBP』の表紙絵を担当される、大久保智睦先生によって描かれた日本画だ。「来年の学園創立100周年を前に、白寿（99歳を迎える方の長寿祝い）の意味を込めて提供させていただきました。自分の日本画で『あやなりBP』の1ページを刻めることをとてもうれしく思っています」

文教大学がこれからも教育界の中で発展できるように。そして、この冊子を手にとって



多彩な記事を楽しんでもらえるように。そんな気持ちも込められている。

東京藝術大学美術学部で学んだ大久保先生の専門は、日本画。現在、日本画のみならず、デッサン、油絵、水彩、版画といった絵画全般を指導する。「美術専修は、図工や美術の教諭を目指す学生が多数派です。真面目で優れた人間性の学生が多いと感じますが、その背景には“こんな教師になりたい”という志をもって入学する学生が多いこともあるでしょう」

もちろん卒業後、クリエイター職や作家として活動する学生もいるが、長年の積み重ねから、教師として活躍している卒業生のネットワークは広く深い。

卒業しても綿々と つながる文教生の心

美術専修の4年間の集大成が、卒業制作。学生たちはほぼ1年かけて大作の創作に挑み、1月末頃に埼玉県近代美術館で卒業制作展が開催される。卒業制作は“自分と向

大久保 智睦先生

【現職】文教大学教育学部教授
学校教育課程 美術専修
2013年～在籍中

き合う作業”と大久保先生は話す。「作品は、いわば“問いかけ”です。自分の考えを他者に問いかけ、鑑賞者がそれをどのようにとらえるか。その相互関係が生まれることで作品づくりが完結すると私は考えています」近年は卒業制作展と同時に、有志の卒業生らからの発案によるOB・OG展も開催されている。こうした世代を超えた卒業生と在校生のつながりも、長い歴史を刻んだ文教大学ならではの。美術を通じた学びが世代を超えて途切れることなく、綿々と紡がれていく。

わたしの文教魂 共育

文教大学の学生は、「素直な心」をもっている人が多く、学生同士で教え合い、お互いに高め合う風土があります。それが、教育界で活躍する卒業生が多い理由だと私は思います。

卒業生



HISAE TAKAHASHI

わたしの文教魂 礎

栄養士としての基礎が身に付いたのは、短大時代に調理実習や実験を数多く経験したからこそ。卒業後も毎年旅行に行くほど仲の良い仲間と出会えたことにも感謝しています。

栄養管理の担い手として 入所者の「食」を最期まで支える

神奈川県内の特別養護老人ホームで、管理栄養士として100人の入所者一人一人に寄り添う栄養ケア・マネジメントを担う高橋寿江さん。居室フロアで入所者の食事を介助しながら嚥下能力などの変化に目を配り、介護士や看護師と連携して入所者の食と栄養を支えている。仕事で大切にしているのは、前任の先輩栄養士に贈られた「ここは

生活の場だからね」という言葉。「この施設は治療の場ではなく、入所者の方の暮らしが最期まで続く場所です。生活の中の一番の楽しみである食事をお届けできることが、仕事の一番のやりがいです」

文教大学女子短期大学部を卒業後、管理栄養士資格を取得し、病院、クリニック、行政などでキャリアを重ねてきた高橋さん。

高橋 寿江さん

【現職】社会福祉法人上村鶴生会 特別養護老人ホーム鶴生園 管理栄養士
【卒業年】文教大学女子短期大学部栄養科
1988年卒業

その過程で先輩や仲間助けられたという思いから、現在は神奈川県栄養士会の理事として、地域の管理栄養士のネットワークづくりにも力を注ぐ。勤務先では文教大学健康栄養学部の学生実習も受け入れており、「みんな別人みたいに成長するので、毎年実習がすごく楽しみ」と、母校の後輩たちのがんばりにも刺激を受けている。

卒業生



GORO YOSHIDA

わたしの文教魂 つながり

幼稚園、小・中学校の同級生たちや先生たちとは、今でも会ったり、連絡を取ったりしています。育った地域にそうした「つながり」があることは、僕の大きな支えになっています。

他人の人生を演じることを通して 新しい自分と出会う

俳優とは、人間について突き詰めて考える仕事。舞台や映画、CM、テレビドラマなどで活躍する吉田悟郎さんは、自身の職業についてそう語る。演じるのは、自分が経験したことのない人生だ。台本を読んで「こんなせりふ、自分には言えない…」と思うことも少なくない。しかし役に寄り添っていくうちに、演じる人物と自分の中に重なる

部分があることに気づくと言う。その重なるの解像度を高めていくことが、役作りの核心になる。それは他者を理解することであると同時に、自分自身を理解し、向き合うこともある。時には、開けたくない引き出しを開け、見たくない自分と向き合わなければならないこともある。それでも、どの引き出しからどんな自分が現れるのか、その探

吉田悟郎さん

【現職】俳優
【卒業年】文教大学学園幼稚園
1993年卒園

求への興味は尽きない。そんな吉田さんに熱いエールを送っているのが、幼稚園時代の恩師たち。今年1月に出演した舞台には、4人の恩師が足を運んでくれた。「卒園してから道で会ったりすることも多く、幼稚園のことも、先生たちのことも忘れたことはありません。この仕事をずっと応援してくださっているのは、本当にうれしいですね」

文教百華

「自分らしく踊る」ために日々練習

幼い頃から音楽に合わせて体を動かすことが大好きだったという遠藤菜々子さん。テレビでさまざまな踊りを見て「バレエをやりたい」と強く思い、幼稚園入園と同時にレッスンを開始しました。

「古典作品は、同じ演目でも演出やキャストによって印象が大きく変わる点が魅力」と話し、言葉がなくても物語の中に入り込めるところに惹かれていていると言います。コンクールにも積極的に挑戦。入賞を重ねていますが「順位よりも自分のベストを尽く

すこと」を大切にしているのだそう。現在の目標は、基礎をしっかり身につけながら自分の強みを生かし、「自分にしか踊れない表現を見つける」こと。周囲への感謝とバレエへの純粋な情熱を胸に、日々成長を続けています。

「ロミオとジュリエット」の第2幕が大好きです

遠藤 菜々子さん
Nanako Endo

文教大学付属小学校5年



好成績をおさめた大会

第22回 Brilliant Stars Ballet Competition in

埼玉バレエコンペティション部門 第1位

第19回 横浜バレエコンクール 優秀賞

第60回 FLAP バレエコンクール 優秀賞

Brilliant Stars Ballet Competitionは、6歳から22歳までを対象としたバレエコンクール。技術向上と表現力を磨く場として、主にコンテンポラリー部門とクラシック部門がある。実力派の参加者が集まる国内のコンクールとして知られる。

バレエ



チームの絆でソングリーディング・ダンスの全国大会へ

笑顔、ダンススキル、そして息の合った動きで観客に元気を与えるソングリーディングやダンス。その国内最大級の大会「USA ナショナルズ 2026」に、文教大学付属中学・高等学校から、中学ソングリーディング部、高校ソングリーディング部、高校ダンス部の3チームが出場を果たしました。ソングリーディングやダンスの魅力は、仲間と楽しさや喜びを分かち合えること。だからこそ、チームの雰囲気や演技の出来を左右します。高校ソングリーディング部の対馬愛音さんは、部長としてメンバーと繰り返し意見を交わして振り付けや表現の完成度を高め、「楽しむこと」を意識してチームの気持ちをポジティブに高めていったといいます。中学ソングリーディング部の部長だった岩淵陽菜さんも、「仲良くなるのが一番大切」と

部員一人一人に目を配り、モチベーションを高める明るい声掛けで29人の大所帯をまとめ上げました。楽しむことを大切にしているのは、高校ダンス部も同じです。大会時、部長を務めていた松岡美典さんは、チームの仲間と“怪獣系”をコンセプトに振り付けを考え、前向きにアイデアを出し合いながらパフォーマンスを完成させました。

大会では3チームとも力を出し切る最高の演技を披露し、高校ソングリーディング部は3位入賞、中学ソングリーディング部は

スピリット賞に輝きました。しかし、その結果には満足していません。対馬さんは「さらに上の順位を取れるようにがんばろう!とみんなで話しています」、岩淵さんも「中学の後輩たちは次こそ1位になってほしい。私も高校ソングリーディング部でもっとスキルや笑顔を磨きます」と、次の目標に向けて練習に打ち込み、松岡さんも「ダンスは楽しむことが一番。後輩がどんな発表をしてくれるか楽しみにしています」と期待を寄せています。

ソングリーディング・ダンス

「元氣と笑顔とパフォーマンス」が合い言葉でした!

曲や振り付けに合った表情にもこだわりました

自分たちの成長や上達を感じた大会でした



2025年度中学ソングリーディング部 部長

岩淵 陽菜さん
Hina Iwabuchi

文教大学付属高等学校1年



2025年度高校ソングリーディング部 部長

対馬 愛音さん
Ayane Tsushima

文教大学付属高等学校2年



2025年度高校ダンス部 部長

松岡 美典さん
Minori Matsuoka

文教大学付属高等学校3年

好成績をおさめた大会
USA Nationals

全国の強豪が集う国内最大級のチャリディング・ダンス大会。Song/Pom部門はポンポンを使った美しい動きや視覚的効果、Hip Hop部門はストリートスタイルの動きやグルーブ感が特徴。

聞かせてください!!
先生の今

恩師便り

文教大学学園で教壇に立つ先生や、今は一線を退かれた懐かしい先生に近況と文教での思い出を語っていただきました。



山本 正先生
Tadashi Yamamoto

1973年より立正学園女子高等学校の数学教諭となり、定年退職後も67歳まで文教大学付属中学校・高等学校で講師として教壇に立った。現役時代のあだ名は「ヤンマー先生」。現在は毎日の散歩を欠かさず、趣味のボウリングにも励む。

初夏は色とりどりのバラの花が咲く、自宅近くの公園で1万歩の散歩を日課としている。そのほか、スポーツジムやボウリングで汗を流し、健康を維持している。



「わかる授業」を追求した45年間

大学時代から教師を志し、念願になって数学教師となったのは昭和48年。以来45年間、教壇に立ち続けました。

初めて授業をした日のことは、いまでも忘れられません。張り切って準備をして授業に臨んだのですが、生徒からは「先生、まったくわかりません」と手厳しい声が上がりました。そこで一念発起。「どうすれば理解し

てもらえるのだろうか?」と根本から考え、正負の数を色別のカードにするなど工夫をして授業を組み立てていきました。やがて生徒たちが職員室に質問に来てくれるようになり、うれしくて、いつもしっかり指導していました。教師としての私のモットーは、「わかる授業」。その原点となった出来事です。私自身も、教育のおもしろさを生徒

たちから学ばせてもらいました。

文教大学学園の魅力は、人と人との深いつながりだと私は思います。生徒たちはやさしくて素直な子が多く、友人に恵まれる環境が醸成されています。長い歴史を経て継承されてきたこのすばらしい校風とともに、よりいっそう学力も磨いていってほしいと願っています。

高田 哲雄先生
Tetsuo Takada

2000年より文教大学情報学部広報(現メディア表現)学科教授。CGを主にデジタル表現の研究と教育に携わる。2020年退職。同年、名誉教授の称号が授与される。現在は国内外の絵画・彫刻・工芸の現代美術作家作品の展示と相互交流を目指す一般社団法人亜細亜美術協会で理事長を務める。

Geminiなどを駆使して高田先生が作成した『絵を描くゴリラ』。これは「AIを活用すればゴリラでも絵が描けるくらいの飛躍が得られる」という風刺作品



完璧を求めず、まずはチャレンジしてみよう

私は1980年代からコンピューターグラフィックスに挑戦してきました。当時はまだ大型コンピューターの時代で、CGは一部の研究者しか扱えない世界。でも自分で試すうちに、可能性に惹かれていきました。ただ、私は「技術だけで芸術は成立するのか」という疑問もずっと持っていました。だからこそ、手描きの表現とコンピュー

ターの研究、その両方を並行して続けてきました。文教大学でも、学生には「準備が完璧でなくてもいいから、まずやってみよう」とよく話していました。新しい技術に向き合う時は、教員も学生も同じ挑戦者だと思っていたからです。

文教大学では、放送局レベルのスタジオや機材を活用して立体映像やCG作品の

研究・制作に取り組みました。学生たちと一緒に試行錯誤しながら作品を作った時間は、今でも鮮明に覚えています。

現在も、亜細亜美術協会の活動やデジタルアート制作を続けています。技術は進化しましたが、最後に問われるのは「何を表現したいのか」。そのことだけは、昔も今も変わらないと思っています。

文教大学学園創立100周年記念 応募作品

2027年に迎える学園創立100周年に向けた記念作品募集に、たくさんのご応募をいただきました。
文教大学学園での「思い出」や「これからの学園に対する想い」をテーマに、「作曲部門」「イラスト部門」
「写真部門」「グッズ企画部門」「エッセイ部門」の5部門にご応募いただいた作品の一部をご紹介します。
※所属は応募当時のものです。掲載されている文章の無断転載・二次利用を禁止します。

イラスト部門

RYUさん 付属中学校3年

「幼稚園の時からずっと文教に通っており、ここまで育てていただきました。中学校では生徒会の役員として2年務め、かけがえのない仲間、人生をかけた夢と出会えたことにとても感謝しています。この作品は、これからの高校生活、新たな道への期待や思いも込めて描いた、中学校最後のイラストです」



野村 佳子さん 教育学部心理教育課程幼児心理教育コース卒業

「文教大学といえば出津橋！そこから見える夕焼け空はとても大きく、楽しい時、つらい時、どんな時でも温かく包み込んでくれました。土手一面に咲く桜も文教ならではのものでした。4年間、仲間とともに過ごした思い出いっぱいの青春の1ページを描きました」



手塚 稔さん 国際学部国際学科卒業

「みんなでつなぎ育んできたこれまでの100年の愛、そしてこれから先もつなぎ育て、さらに大きくなる愛をイラストにしました」



阿部 靖雄さん 教育学部初等教育課程社会専修卒業

「40年以上前の文教大学の思い出をエッセイにしました」

「トヨタ学生寮の思い出」

昭和の時代、越ヶ谷駅から西の方向、徒歩二十分程、赤山町に「トヨタ学生寮」と呼ばれていた男子寮がありました。鉄筋コンクリートの四階建ての建物で、百名近くの男子学生が生活をしていました。ほとんどが文教大学の学生でしたが、独協大学やその他の大学の学生も三割程いました。食事は朝食と夕食を一階の食堂で食べました。月に数回、四つの大きな寸胴鍋に肉がたっぷり入ったバイキング形式でのカレーライスのメニューは大好評でした。(一部抜粋)

続きはWebをご覧ください

出津橋は
人生の基礎
喜怒哀楽を受け止めて
文教で築く

エッセイ部門

村井 雅子さん 教育学部中等教育課程家庭専攻卒業

「入学式の日、希望と不安を抱いて出津橋から眺めた文教大学。その日から一生懸命に努力した時、思い通りにいかない時、友達と議論し平行線の時、意気投合した時など、いろいろな気持ちで出津橋を渡りました。どんな気持ちも受け止め、川の流れはやさしく癒やしてくれました。生きていくためのさまざまな基礎は、あの4年の体験で培われたように思います。これらの気持ちをこの短歌に込めました」

写真部門

山下 颯大さん 文学部日本語日本文学科4年

「文教大学で過ごしたこの4年間、多くの人との関わりの中で、人として大きく成長したことを実感できました。大きな窓枠の影がまるでこのかけがえのない、短いけれど自分にとって大きな意味を持っていた「時間」にスポットライトを当てているかのように見え、シャッターを切りました。学内で撮ったなかで一番お気に入りの写真です」



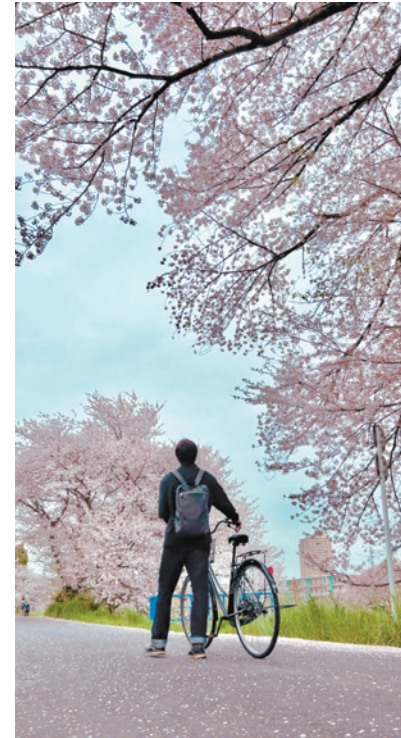
鹿ちゃんさん 文学部英米語英米文学科卒業

「文教生なら誰でも見覚えのあるこの景色。初めての大学生活を前に緊張とワクワクを抱えながらキャンパスへ向かった日、友達やサークル仲間とお花見を楽しんだ日、卒業後に毎年訪れ眺めたあの日…。たくさんの思い出が詰まっています」



長川 凛久さん 付属高等学校2年

「高校生活で出会った最高の仲間と共にたわいもない話をしている、かけがえのない瞬間です。この心に残る時間とともに、創立100周年という歴史の中に残したいという気持ちで応募しました」



わかばやしさん 人間科学部臨床心理学科4年

「桜咲く木の下をゆっくりと歩きながら、文教大学生としての新たな1年を迎える。この時の春からサークル活動ができるようになったことで、新たな出会いや友人との交流が増え、思い描いていた大学生活を送れるという気持ちで胸がいっぱい」

作曲部門

「はんぶんこ」(1番の歌詞より)

少し早い到着に 音が聴こえてくる
歌い声 笑い声 たくさんのハーモニー

今日のこと 明日のこと 話はいつまでも尽きないね
ねえこれちょっとあげる帰り道のあの橋で

青い青い空の下 きみと はんぶんこした 思い出も
ずっとずっと胸にある 倍の幸せ はんぶんこ

Momokaさん 教育学部学校教育課程音楽専修卒業

「私にとって文教大学での学生生活は、かけがえのないものでした。この曲には当時の学生生活の日々や景色、マスコットキャラクターのBUNKOちゃんのことなど、大学への想いをぎゅっと込めました。幸せやがんばりを誰かと分かち合う「はんぶんこ」の温かさが伝わる曲になっていれば幸いです」

「ニンゲンアイ消しゴム」



グッズ企画部門

山本 七嘉さん 付属高等学校1年

「ニンゲンアイ消しゴムは、使うほどに中央のハートが表れる体験型消しゴムです。建学の精神「人間愛」を「削ることで育てる」というコンセプトを形にしました。消していくたびに、あなたの中の人間愛も磨かれていく—そんなメッセージを込めた商品です」

そのほか、次の方々から作品をご応募いただきました。ありがとうございました。

エッセイ部門：穂高さん(教育学部初等教育課程美術専修卒業)、小松原 敦子さん(立正学園女子短期大学家政科卒業)、菅田 孝江さん(付属高等学校卒業生保護者)、小野塚 智子さん(文学部中国語中国文学科卒業)、松原 康夫さん(元情報学部教授)、日本語教育専攻さん(文学部日本語日本文学科卒業)、田中 伸一さん(文学部中国語中国文学科卒業)、篠原 尚子さん(人間科学部人間科学科卒業) **作曲部門**：川村 琢也さん(人間科学部臨床心理学科在校生保護者)、田中 類さん(付属小学校在校生保護者)、小島 有騎さん(付属高等学校2年)、奥野 善樹さん(国際学部国際観光学科在校生保護者)、仲条 幸一さん(大学院教育学研究科修了)、カキモトヒトマロ(バンド)/荒木 良太さん(文学部日本語日本文学科3年) **グッズ企画部門**：M.Kさん(教育学部心理教育課程児童心理教育コース卒業)、A.Sさん(教育学部心理教育課程児童心理教育コース卒業)、匿名希望さん(文学部中国語中国文学科卒業)

「あやなり BP」Webサイトに
全て掲載しています！



EVENT情報



BUNKYO校友フェスタ2026

日程・2026年10月17日(土) 10:30～16:30
場所・文教大学 東京あだちキャンパス

詳細は、別紙の
チラシでご確認ください!!

2026年度も校友のための交流イベント「BUNKYO校友フェスタ」を実施します 千住真理子ヴァイオリン・リサイタル

今年度は世界で活躍するヴァイオリニストの千住真理子様をお迎えします。繊細かつ力強い音色と心に響く演奏を通して、特別なひとときをお楽しみいただければ幸いです。



文教大学 東京あだちキャンパス



©笹口悦民

千住 真理子氏(ヴァイオリン)

2歳半よりヴァイオリンを始め、NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。コンサート活動以外に、講演会やラジオのパーソナリティなど、多岐にわたって活躍するほか、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。



校友によるパフォーマンスとトーク



全国大会31回出場、金賞22回受賞を誇る越谷キャンパスの吹奏楽部。今回はアンサンブル形式で、磨き上げられた「文教サウンド」を皆さまにお届けします♪

当日はアンサンブル形式での演奏となります



物産展を開催

今年度も在学生・卒業生など文教大学学園の校友が関わっているモノの紹介および販売を行います。文教大学人間科学部のご卒業生が運営に携わっている「ココ・ファーム・ワイナリー」の100%日本産葡萄ワインなど、すてきな校友のお店が出演予定です。現在、出展者様を大募集中です！右上の二次元バーコードより、ぜひご連絡ください！皆さまのご連絡をお待ちしております。



まずはお問い合わせください♪



晴れ晴れ珈琲



ココ・ファーム・ワイナリー



めざせ友だち1万人！文教大学学園公式LINEアカウント 今なら新規ご登録で 限定スタンププレゼント！

学園情報をリアルタイムにお届けする学園公式LINEアカウントのお友だち登録はお済みですか？今なら新規でお友だち登録いただいた方に限り、期間限定で文教大学公式マスコットキャラクター「BUNKO」の「使いやすい言葉」限定スタンプをプレゼントしています！

校友メールマガジン「あやなりBPかわら版」や、住所変更などの各種手続きもLINEより変更可能です。ぜひお友だち登録をお願いします！



お友達登録は
こちら



同窓会イベントをお知らせします

日時：令和9年8月21日(土)
詳細、対象については下記の二次元バーコードより、ご確認ください。



2025年度「BUNKYO校友フェスタ2025」を開催しました

2025年10月18日(土)に開催した「BUNKYO校友フェスタ2025」には、過去最多の684名の方にご参加いただきました。津軽三味線アーティスト「吉田兄弟」のお二人をお招きした「吉田兄弟コンサート-三味線だけの世界-」では、庄巻の演奏に会場が魅了されました。また、映画「宝島」公開記念「真藤順文氏トークイベント」では、フリーアナウンサーの八木田幸恵さん(人間科学部卒業生)の進行のもと、原作者で文学部日本語日本文学卒業の直木賞作家・真藤順文さんと恩師の寺澤浩樹先生との対談が和やかな雰囲気で行われました。



津軽三味線アーティスト「吉田兄弟」による三味線コンサート



直木賞作家・真藤順文さんのトークイベントの様子



校友によるパフォーマンス、Momokaさん



物産展



めざせ100店舗！「校友のお店100」Webページ「-訪ねる-」掲載店舗募集

ご応募は
こちら



学園広報誌「あやなりBP」Webサイトの「-訪ねる-」のコーナーでは、「校友」が活躍するお店を紹介しています。2027年に迎える学園創立100周年にちなみ、100店舗目指して掲載店を募集中です！卒業生が利用できる「お店」であれば、病院、施設などでも大歓迎です！皆さま、奮ってご応募ください！

『あやなり-Bunkyo Pride-』Webサイトもお楽しみください

<https://www.bunkyo-ayanari.jp/>

取材時のオフショットなど本誌に掲載できなかった情報も盛り込み、学園の「今」や文教人の活躍を、見やすく・わかりやすくお届けしています。過去の『あやなりBP』もこちらからご覧いただけます！



本誌に掲載できなかった
記事も読めます！



BUNKYO
100th
Anniversary

いよいよ 100周年まで あと1年と迫りました

文教大学学園創立 100周年記念企画 文教大学学園 三世代卒業の方を 募集しています

文教大学学園を三世代にわたって卒業・卒園されている方はいらっしゃいませんか？学校種は問いません。「我こそは！」という方、ぜひご一報ください！
下記の二次元バーコードからご連絡ください！

募集要項は
こちら



1年を振り返る／ CAMPUS REPORT

この1年も各キャンパスでさまざまなできごとがありました。園児、児童、生徒、学生たちはそれぞれの学び舎で経験を重ね大きく成長していています。在校生が過ごした1年の足あとをたどります。

文教大学付属幼稚園

親子レクリエーション

4月中旬、『親子レクリエーション～こいのぼり作り～』を実施しました。カラーポリ袋を使って親子で「手作りこいのぼり」を製作。こいのぼりの形に整えた後、ウロコのデザインは、親子で相談しながら作りました。好きなキャラクターや形・模様などが貼られ、世界にひとつだけの手作りこいのぼりができ上がりました。青空の下、でき上がったこいのぼりが気持ちよさそうに泳ぐ様子は、地域の光景としても親しまれています。

文教大学付属幼稚園

文教こどもまつり

9月下旬、父母の会主催の『文教こどもまつり』が行われました。父母の会やおやじの会の皆さまが1学期から計画的に準備し、当日を迎えました。テーマは『わくわく!こどもアドベンチャー ふんきょうジャングルのたからをさがせ』でした。テーマに合わせて、園内がジャングルに大変身!「子どもたちの笑顔をみたい」「一緒に楽しみたい!」と願って行われた行事です。当日は学年ごとに実施し、親子で楽しい時間を過ごすことができました。

文教大学付属小学校

体力テスト(洗足池公園)

広いグラウンドを借りて、50m走とソフトボール投げに挑戦!初めての1年生も、6年生のお兄さん・お姉さんに優しく手を引かれ、ワクワクした表情で会場へ向かいました。「もっと速くへ!」「前より速く!」と、地面を力いっぱい蹴って、体全体を使って取り組む姿はとってもパワフル。測定を支えてくれた頼もしい5年生・6年生のおかげで、自分の成長をしっかりと感じられる、笑顔いっぱいの全力投球な一日となりました!

文教大学付属小学校

美しい日本語の話し方教室

劇団四季の俳優さんをお招きし、舞台でも使われている『母音法』という発声方法を教わりました。聞き取りやすい声の出し方や、言葉を届ける大切さをプロから直接学び、子どもたちは興味津々!授業の後半では、教わった方法を意識しながらミュージカルの曲をみんなで合唱。正しく美しい言葉を通して、歌に込められた友情や思いやりの心も深く感じる事ができました。日本語の美しさを再発見する、とても貴重な学びの時間となりました。

文教大学附属中学校・高等学校

白蓉祭

2025年9月20日(土)・21日(日)の2日間、第64回「白蓉祭(文化祭)」を開催しました。残暑の厳しい中での開催となりましたが、校内はそれを上回る生徒たちの熱気に包まれました。クラス展示や部活動の発表など、どの会場も工夫を凝らした演出で来場者を楽しませていました。今年の白蓉祭も実行委員や生徒会執行部を中心に、企画から運営まで生徒たちが主体となって創り上げました。教員と粘り強く交渉したり、仲間と意見を戦わせたりしながら一つ一つのものを創り上げていく過程は、本校が大切にしている「主体性」を育む貴重な機会となっています。この伝統は、後輩たちへとしっかりと受け継がれていくことでしょう。



文教大学

不要なアクリル板を再利用したサステナブルな大学グッズを制作

2025年度卒業式にて、卒業生に対し、コロナ禍に学内で使用していた不要なアクリルパーテーションをアップサイクルした「アクリルクリップ」を贈りました。入学当初はコロナ禍にあり、活動制限のある学生生活を過ごした2025年度卒業生。当時を象徴する素材をアップサイクルすることで、コロナ禍の学生生活を前向きな思い出として刻んでほしいとの願いを込めています。学生には、クリップに込める想いや未来へのメッセージを記したメッセージカードもあわせてお渡ししました。グッズ制作には、本学も登録するあだちSDGsパートナーの登録企業にご協力頂きました。この取り組みが卒業生にとって心に残る思い出となり、SDGsへの関心をさらに深めるきっかけとなることを願っております。



文教大学附属中学校・高等学校

合唱コンクール

2025年11月14日(金)、大田区民ホール・アブリコにて「合唱コンクール」を開催しました。例年3学期に実施していましたが、今年度は初めて2学期の開催となりました。練習期間が例年より短いという制約がありましたが、生徒たちは限られた時間の中で効率的に練習を重ね、本番ではどのクラスも素晴らしい歌声を会場に響かせてくれました。実行委員長の言葉にあった「今日の歌が皆さんをつなぐ特別な一曲として心に残ってほしい」という願いの通り、クラスが一致団結して目標に向かう経験は、生徒同士の絆をより一層深めるものとなりました。行事を通じた成長が、日々の学習や生活にもよい影響を与えています。



文教大学

藍蓼祭、聳塔祭、華叉祭を開催

2025年10月25日(土)～26日(日)に「第41回聳塔祭」(湘南キャンパス)、2025年11月1日(土)～3日(月・祝)に「第58回藍蓼祭」(越谷キャンパス)、2025年11月8日(土)～9日(日)に「第5回華叉祭」(東京あだちキャンパス)が開催されました。各キャンパスとも、トークショーやステージ発表などさまざまな企画を実施し、大いに盛り上がりしました。2026年度は以下の日程で実施いたしますので、ぜひご来場ください!

- 湘南キャンパス「第42回聳塔祭」
2026年10月24日(土)～10月25日(日)
- 越谷キャンパス「第59回藍蓼祭」
2026年10月30日(金)～11月1日(日)
- 東京あだちキャンパス「第6回華叉祭」
2026年11月7日(土)～11月8日(日)



入試関連イベント

幼稚園

入園説明会

9/5(土)

10:00～11:00



小学校

学校説明会

9/12(土)

説明会 10:05～
個別相談会 11:40～



中学校・高等学校

学校説明会

9/5(土)

中学校 14:00～15:00
高等学校 10:30～11:30



大学

オープンキャンパス

8/22(土)

東京あだちキャンパス
10:30～15:00(予定)

8/29(土)

湘南キャンパス
10:30～15:00(予定)

9/13(日)

越谷キャンパス
10:30～15:00(予定)



校 友 会 の 輪

文教大学学園

2012年に発足した
「文教大学学園校友会」は
各校校友団体の連合体です。
校友同士の輪(和)の
形成を目指しています。

文教大学附属高等学校 三蓉会

会 員 数：25,867名
問合せ先：[三蓉会事務局]（木曜日開室）
〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL 03-3784-0524 FAX 03-3784-0524
Mail sanyokai@hatanodai.bunkyo.ac.jp

卒業生・教職員・在校生の3本の柱で学校を支え、母校の発展に寄与することを目的とし、会報の発行・会員の親睦・学校行事の協力をしています。卒業時には入会記念品、創立周年時にはオリジナルの記念品等を寄贈しております。2年に1度同窓会を開催しております。次回は令和9年秋の開催を予定しております。



2025年同窓会写真



2026年三蓉会総会集合写真

今年も旗の台校舎で総会を開催し、12月には観劇会も予定しております。100周年についてもイベントを考えております。詳しくは三蓉会だよりをご覧ください。

EVENT

白蓉祭 日時：2026年9月26日(土)、27日(日)
場所：旗の台キャンパス 卒業生お休み処
観劇会 日時：2026年12月13日(日) 場所：JR東日本 四季劇場「秋」
演目：バック・トゥ・ザ・フューチャー

文教大学女子短期大学部 芙蓉会

会 員 数：30,154名
問合せ先：[芙蓉会事務局]（火曜日・木曜日開室）
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
TEL 0467-52-4075 FAX 0467-52-4075
Mail fuyou@bunkyo.ac.jp
HP https://www.bunkyo.ac.jp/etc/fuyou/ ホームページ▶



芙蓉会は旗の台キャンパスと湘南キャンパスの短期大学部卒業生を会員に持ち、閉学後会報などを通じて会員の絆を大切にしています。昨年の通常総会・懇親会は顧問の学長宮武利江先生、健康栄養学部学部長の秋吉美穂子先生、齋藤貴美子先生、齋藤檀さまをお迎えして横浜崎陽軒本店で開催しました。秋にはBUNKYO校友フェスタと聳塔祭に参加。大勢の会員が参加して芙蓉会ブースはとても賑やかでした。本年はBUNKYO校友フェスタや湘南ホームカミングデーに参加しますので、皆さまのご来場をお待ちしています。



総会集合写真



BUNKYO校友フェスタ2025の芙蓉会ブース

※芙蓉会は、文教大学学園創立100周年記念事業として「芙蓉会のあゆみ」（仮称）を制作しています。学生時代の思い出やエピソード等、皆さまのご寄稿をお待ちしています。詳細は芙蓉会ホームページか左の二次元バーコードへ。



お問い合わせ
フォーム



「芙蓉会のあゆみ」
寄稿フォーム

文教大学附属小学校 同窓会

会 員 数：2,657名
問合せ先：〒145-0065 東京都大田区東雪谷2-3-12
Mail bersc_2008@yahoo.co.jp
HP www.ikd2008.com ホームページ▶



4年に一度オリンピックの年に、同窓会フェスティバルを開催します。次回は2028年開催予定です。



バザーにて、役員の集合写真

文教大学付属(溝の口)小学校校友会

会 員 数：400名
問合せ先：〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子1-11-23（飯島悠光）
TEL 090-4605-5320（代表幹事／第17回生・矢内義道）
Mail kouyukai@yannet.biz
HP http://www.yannet.biz/bunkyo-koyukai/
https://www.facebook.com/bunkyo.mizonokuchi.koyukai

Facebook▶



文教大学付属(溝の口)小学校は、昭和26（1951）年に溝の口（現在の溝口緑地・高津図書館付近）に開校し、昭和60（1985）年まで24年間、1,918名の卒業生を輩出しました。日蓮宗・宗隆寺の檀家や商店街、地元住民の子弟が多く通い、少数精鋭で先生と生徒の距離が無い学校でした。閉校から40年が経ちましたが、現在も卒業生有志が集って校友会活動を続けています。学校跡地に設置されたブロンズ像「RELATIONS」の碑は、現在も文教大学付属(溝の口)幼稚園・小学校の「きずな」を伝えています。



第5回生 70歳のクラス会 (2018.5.12銀座・木村家)にて。「シルバー世代に入っても頑張ります」



第5回生75歳のクラス会 (2023.5.31二子玉川エクセル東急)にて。「後期高齢者になっても元気で」

文教大学父母と教職員の会

会 員 数：8,795名（正会員/在学生 大学院101名含む）、343名（教職員会員）、101名（賛助会員）

問合せ先：
[父母教越谷事務局] TEL 048-974-8811 内線1051
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
[父母教湘南事務局] TEL 0467-53-2111 内線3640
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
[父母教東京あだち事務局] TEL 03-5686-8577 内線6852
〒121-8577 東京都足立区花畑5-6-1
Mail fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp
HP https://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/

ホームページ▶



文教大学のイニシャルである「B」の文字が寄り添うように作られた父母教ロゴを発展させました。寄り添う「B」が50周年を迎え、さらに父母、教員が一丸となり学生を優しく見守り、支えていくイメージを球体で表現しています。文教大学ロゴの「グローバル」「平和」「人間愛」を意味する“円”も取り入れ、文教大学の理念をさらに広げ、学生たちが羽ばたいていく願いが込められています。

文教森の会 旧文教大学付属幼稚園(越谷)同窓会

会 員 数：50名
問合せ先：[文教森の会事務局 林文子]
〒332-0035 埼玉県川口市西青木2-4-41-510
TEL 048-252-1771 / 090-6015-8282 FAX 048-252-1771
Mail fmk235hys@gmail.com

元荒川土手の生き物を愛する越谷市民の新たな会員と卒園生会員が共に、二回(4/27と11/31)のイベントを楽しみました。従来通り「土手の生き物」を画像に撮って発表し、「土手のゴミ拾い」を行いました。また、お楽しみイベントとして4月は「摘みたてのヨモギ団子」作り、11月は女子中学生の提案で「秋野草の天ぷら」を揚げ、美味しいを堪能しました。今年度も二回予定していますので、ぜひご参加ください。



元荒川土手でごみ拾い



ヨモギ団子作り

文教大学学園退職職員の会

会 員 数：37名
Mail alumni@stf.bunkyo.ac.jp

退職職員の会は、学園に勤務し、退職した職員で組織している会です。昨年度(令和7年度)は、10月18日に東京あだちキャンパスで定例総会及び懇親会を開催しました。総会では、活動・会計報告が行われ、学食にてランチを囲みながら近況報告が楽しく行われました。退職後の職員の会ですので、お互いに健康に気を付けましょうと励まし合いながらも、和やかなひと時を持つことができました。懇親会後は校友会フェスタ2025に合流し、「吉田兄弟コンサートー三味線だけの世界」の演奏を堪能して散会しました。

文教大学ビジネス同友会

会 員 数：約280名
問合せ先：〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL 04-7145-5036 FAX 04-7145-5036
Mail bunkyo.bd@gmail.com
HP http://bunkjobiz.net/ ホームページ▶



ビジネス同友会は新入社員から60歳超のベテランまで、短大を含む全文教OBOGが会員です。縦横で繋がり、親睦を深め、相互の交流から新しいビジネスが生まれ、転職のチャンスを探るのが同友会です。以下の3つの方針で運営しています。

1. ビジネスを中心に据えた活動
 2. 大学との関係正常化
 3. 緩やかで自由な集まり
- の3つを掲げて活動します。ビジネスでの交流を図りたい方、ぜひ、ご連絡ください！



文教大学出身の芥川賞作家・高橋弘希さんの講演会 (2025/9/19)